「メモ取り名人　11 カ条」

＜メモ取り名人　11 カ条＞

①その場で書く　　まず「メモを取ってもいいですか？」と聞く
②まず日付
③メモ帳の行は無視して　　一行空ける、二行使って書くなど見やすく
④１回のメモで１ページ
⑤メモ帳は前から順番に
⑥間違った時は上から線を引く
⑦漢字が思い出せない時は、ひらがなやカタカナで
⑧単語や短い文で書く
⑨番号や矢印を活用
⑩５W1H を落とさずに　　いつ、どこで、誰が、何を、どうした、どのように
⑪大切なところは、丸印や波線などをつけて、目立たせる

聞き取りの課題文（例）

先週の体育祭で、落し物が二つありました。
一つは革の小銭入れです。体育館の舞台の裏に落ちていました。もう一つは、白いサンバイザーで、グラウンドの男子トイレの中にありました。
心当たりのある人は、落し物担当の〇〇先生まで今日中に連絡してください。

８　生徒の変化と今後の課題

【単元開始前のメモの取り方】

- ページに、日付や見出しがなく、その時開いたページに順不同に書いているため、どのページに何を書いたかが分からなくなっていた。
- ページ全体にびっしりと文の形で書いていた。
- 聞き取ったとおりに書こうとし、間違えた字を消しゴムで消したり、漢字を丁寧に書いたりしているうちにメモが取りきれなくなっていた。

【単元終了時の様子】

- 生徒の実態を元に「メモ取り名人 11 カ条」を設定したところ、ルールに従って分かりやすいメモが書けるようになってきた。
- 自分の書いたメモを見て、おおまかな内容や要点をつかむことができるようになった。また、友達のメモを見てよい点を真似ようとするなど、学習に意欲をもって取り組むことができていた。

【今後の課題】

- メモの取り方の基本を理解し、自分なりにわかりやすいメモをとることができるようになってきたが、メモを取るべき場面に自分で気づき、メモ帳を取り出すところまでは至っていない。今後他の教科や作業学習等でもメモの活用を促していくなど、継続して指導することで定着を図る必要がある。